

第 292 回

岩 手 朝 日 テ レ ビ 放 送 番 組 審 議 会

議 事 録

(2025 年 10 月)

2025. 10. 29

株式会社 岩手朝日テレビ

## 第 292 回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 2025 年 10 月 29 日（水）午前 11 時～
2. 開催場所 岩手朝日テレビ 本社 大会議室
3. 委員の出席

委員総数 8 名

出席委員数 7 名

副委員長	そのだ	つくし
委員	石川	健正
委員	佐竹	雅之
委員	高橋	惣兵衛
委員	松澤	一美
委員	小川	智亮
委員	内海	

欠席委員数 1 名

委員長	小松	豊
-----	----	---

会社側出席者名

代表取締役社長	畠山	大
常務取締役	三浦	茂樹
メディアビジネス 推進本部本部長		
取締役	岩淵	美彦
放送番組審議会 事務局長		
報道制作部 担当部長	四戸	俊行
プロデューサー		
番組審議会事務局	鈴木	敦

#### 4. 議 題

- (1) あいさつ
- (2) 11 月単発番組・9 月視聴率・9 月視聴者応答記録
- (3) 番組種別ごとの放送時間について
- (4) 合評課題について  
「福田こうへい&天津木村  
岩手なんだりかんだり気まぐれ道中」  
\*2025 年 6 月 11 日（水）  
午後 7 時～8 時にて放送
- (5) 次回開催について  
日 時：2025 年 11 月 26 日（水）午前 11 時～  
場 所：岩手朝日テレビ 本社 大会議室  
合評課題：「天津木村の G o ! G o ! G o l f」  
\*2025 年 10 月 18 日（土）・25 日（土）  
午前 6 時 30 分～7 時にて放送
- (6) その他

#### 5. 概 要

紅白歌手の福田こうへいさんと天津木村さんの同い年 2 人が、岩手県内を舞台にやりたいことを「なんだりかんだり」（岩手の方言で、なんでもかんでもの意）楽しみながら巡る自由きままなバラエティ番組。

#### 合評の意見

- ・初共演である福田さんと木村さんの掛け合いが面白く、また一般の人々とのやり取りも自然でユーモアがあった。双方の魅力が発揮されていたと思う。今後は続編やミニ番組としての展開も期待したい
- ・ドローン映像を使って西和賀の自然の美しさを伝えていた。映像とナレーションにより、明るく楽しい 1 時間に仕上がっていた
- ・この番組は地域の魅力を伝えると同時に、地元出身者（福田）と移住者（木村）という 2 つの視点を通じて、地域の新しい関係性を示すことができたと思う

## 6. 議事の内容

岩淵事務局長) 定刻になりましたので、第 292 回放送番組審議会を始めさせていただきます。ご出席の皆様、ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日は小松委員長が所用で欠席ということでございます。

今回の合評課題は、「福田こうへい&天津木村 岩手なんだりかんたり気まぐれ道中」につきましてご審議いただきます。

同番組は 2025 年 6 月 11 日に放送、紅白歌手の福田こうへいさんと天津木村さんの同い年 2 人が、岩手県内を舞台に、やりたいことを「なんだりかんたり」楽しみながら巡る自由きままなバラエティ番組でございます。

本日は、番組プロデューサーの報道制作部担当部長の四戸が出席しております。率直なご感想、忌憚のないご意見を頂戴できればと思っております。

では本日は小松委員長が欠席のため、そのだ副委員長、議事進行よろしくお願いいたします。

そのだ副委員長) 皆さん、お疲れさまでございます。  
では、まず初めに社長ご挨拶をお願いいたします。

畠山社長) おはようございます。最近、連日クマ出没のニュースが報道されておりますが、今朝は石川さんのところ（岩手銀行）に現れたようでして。大変な中ありがとうございます。

現在メジャーリーグのワールドシリーズがBSで毎日放送されているのですが、岩手出身の大谷君、朗希君たちが活躍しているので IAT の視聴率が中々厳しく・・・正直、早く終わってくれないかなと思っております。本日も宜しくお願いします。以上です。

そのだ副委員長) ありがとうございます。  
では事務局から単発番組、視聴率、対応記録についてご報告のほうをお願いいたします。

岩淵事務局長) では、11 月の単発番組と 9 月の視聴率及び視聴者の対応状況についてご報告いたします。

まず、11 月の単発番組、A4 横のものをご参照ください。ローカルでは 2 日に「全国高等学校バスケットボール選手権大会 岩手県予選大会 男子決勝」を生中継いたします。

また、11 月 8 日、9 日に開催される第 3 回女子硬式野球イーハトーブはなまき大会の模様を「輝け！銀河の国の星（サ

ムライ) 達」としてお届けいたします。

スポーツ以外では、IAT&AAB特番「予測不能!? 岩手→秋田 AI・LOVEトリップ(仮)」を予定しております。

ローカル以外では、長谷工グループスポーツスペシャル「秩父宮賜杯第57回全日本大学駅伝対校選手権大会」、女子ゴルフの「樋口久子三菱電機レディース2025」、「伊藤園レディースゴルフ2025」、「世界ラリー選手権日本大会 ラリージャパン2025」、「フィギュアスケートグランプリシリーズ2025」アメリカ大会とフィンランド大会の遠征の模様をお届けいたします。単発番組については、以上でございます。

次に、9月の視聴率について、まず緑色の個人全体視聴率からご報告いたします。当月は、全日が民放3位、ゴールデンが3位、プライムが2位となりました。裏局ですが、IBCが世界陸上と世界バレーボールを放送し、当月の高視聴率ベストテンのうち、世界陸上8番組、世界バレーが1番組ということでありまして、何と上位9位までをIBCが独占したという格好になっておりまして、このような順位になります。なお、土曜午前の「Go! Go! いわて」は2部4.9%と好調をキープしております。

続きまして、青色の世帯視聴率でございます。全日が民放3位、ゴールデン、プライムは共に2位となっております。9月の視聴率につきましては以上でございます。

続きまして、9月の視聴者対応状況でございます。こちらもA4横のエクセルをご参照ください。電話は5件、メールが17件の計22件の視聴者対応であります。内訳は、質問が5件、要望が1件、意見・苦情が3件、その他13件でした。内容につきましては、お配りした資料のほうをご参照ください。

視聴者対応記録までは以上でございます。

そのだ副委員長)      ありがとうございます。

事務局からの説明について何かご質問とかはございませんでしょうか。

私が聞きたいのは、「AI・LOVEトリップ」って何ですか。

岩淵事務局長)      四戸さん、ご存じ?

四戸プロデューサー)      旅先に行って、AIがすごく発達している時代で、その市町村のいいところとかお勧めとかをAIに聞いたらどうなるのだろうという、AIが旅先を決めたりロケの内容を決めたりしたら果たしてどうなるのかというのを実験的にやっ

てみようみたいなことをちょっと企画にするというふうに聞  
いています。多分変なことが出てきたり、本当に正しいこと  
が出てきたりするのだと思うのですけれども、ちょっとその  
ぐらいしか、ちょっと私も聞いていないです。

そのだ副委員長)   ありがとうございます。  
ほかはお質問ないでしょうか。  
なければ、合評課題について……

岩淵事務局長)    すみません。当月上半期が終わったところでございますの  
で、放送番組の種別ごとの放送時間につきましてご説明させ  
ていただきます。

そのだ副委員長)    お願いします。

岩淵事務局長)    A4 縦の放送番組の種別ごとの放送時間という資料をご参照  
ください。この期間の放送番組の種別ごとの放送時間のご報  
告を申し上げます。

対象期間の放送時間全体は 5 万 7,828 分、それを種別ごと  
にまとめております。種別ごとの割合は、報道が 22.8%、教  
育 12.5%、教養が 21.4%、娯楽 30.5%、その他（通信販売）  
11.0%、その他（その他）が 1.7%です。

なお、対象期間におけるCM放送時間は 9,189 分 45 秒、割  
合は 15.9%です。

放送免許の認可基準では、教育が 10%以上、教養が 20%以  
上、CMが 18%以内とされており、いずれもクリアしており  
ます。

以上、事務局からの説明とさせていただきます。

そのだ副委員長)    ありがとうございました。すみません、飛ばしました。  
さっきのことではご質問とかはないでしょうか。  
なければ、合評課題の発表をお願いします。  
今日は、内海さんからお願いします。

内海委員)        では、よろしくお願いします。今回の番組は同い年と初共  
演の気まぐれ道中ということで、タイトルにあるとおり、登  
場する 2 人のパフォーマンスと、そして気ままな旅というこ  
とで、どこに行くのか、何を紹介して何を見せるのだらうか  
と、この 2 つのポイントに絞って番組を見させていただきま  
した。

まずこの 2 人なのですからけれども、私は福田こうへいさんは  
歌手ということは存じ上げているのですけれども、どうい

方なのかほとんど知識がなかったので、正直見て、めちゃくちゃひょうきんで面白い人だなというのが僕の印象でした。岩手の方はもしかしたら知っているのかもしれないのですが、僕は全然知らなかったもので、すごくパーソナリティーもあって面白い人だなと思いました。

この人が、ちょっとお笑い風に言ってはあれなのでけれども、ボケで木村さんが突っ込むというのが、木村さんはボケもうまいのですけれども、やっぱり突っ込みで本領を発揮するところがあるのかなと思っていて、2人の掛け合いがすごく面白くて、本当に初共演なのだろうかというぐらい見入ってしまいました。なので、福田さん、木村さん双方のよさがすごく出ていたなと思っていました。本当に西和賀のところで店員が出てきて「でっけえ」とか、本当にぼけがいっぱい連発していて、僕自身もすごく楽しませていただきました。

もう一方の旅というところの設定の部分では、最初盛岡市の玉山地区ですか、そこで釣りをするというところが出てきて、「これ釣り番組か」とかと木村さんが言っていましたけれども、これどういう展開になるのかなと思って見ていたら、番組を振り返ってみるとメインは西和賀ということになるのですけれども、西和賀についてはとても丁寧に、情報番組としては料金など、そういったものをすごく映してあったり、値段と、どこでやっているとか、時間とか連絡先とかもあったので、すごく西和賀というところが魅力的なところで、僕は行ったことないのですけれども、見たいなと思いました。

この番組を見ていてちょっと思ったのはCM中、CMは何本か、何回か間に挟まるのですけれども、そのときに旅行物件ですか、頭出しというか、ちょっと専門用語は分からないのですけれども、次に流れる部分を切り取って流すという部分があって、30分ぐらい、半分ぐらい行ったところで、ちょうどカラオケとか砂風呂の場面が映って、僕はそこで、これ次見てみようと思ったので、すごくそこがうまいなというか、関心がありました。福田さんの歌が本当に聞けるのではないかと。僕は単純に温泉が好きで、砂風呂を鹿児島で入ったりしたことがあったので、岩手でもできるのだということで、そのCMの何か、その前もそうだったのですけれども、切り出すところがすごく今回は何か印象的でありました。

そのやり取りの中で、一般の人を巻き込んだやり取りが結構、一般の人というか、鉄工の人とか、合唱の人とか、その人たちがすごくユーモアというか、その返しに結構驚いて、大阪とかのロケだと多分こういうことがあるのでしょけれども、岩手の人も、これ仕込んでいるのかなと思ったりも、何か考えてしまうので、そこがすごく自然でとても面白かつ

たので、それもあって、すごく盛りだくさんの構成だなと思って見させていただきました。

ちょっと気になった点をあえて言うのであれば、最初の盛岡の次の部分が、福田さんがやりたいということでやって、次は木村さんが、では私の行きたいところを紹介しますと西和賀に行くのですけれども、ちょっと釣りの部分が何か、後から振り返ってみると、ここは何か、あってもいいのですけれども、若干そのつながり的に、尺も短かったので難しいのですけれども、福田さんのお勧めという意味では何かもっとあったほうがいいのか、どうすればいいのか個人的には分からないですけれども、若干浮いているというか、後から振り返ったらですけれども、そこがどうなっているかなと、何かそんな感じは持ちました。

もう一個、気ままな旅とあるので、すごくよく見れたのですけれども、気まま感が何か、行くところ行くところすごくちゃんとして、セッティングしているというわけではないのかもしれないですけれども、できていたので、ちょっと気まま感が出ていなかったのかなというか、そこが、ここからどこへ行こうとか言って、例えばハプニングがあったとか、そういうのがあるともっと面白いなと思ったのが個人的な意見でした。

ただ、これは多分 1 回の特別番組だったと思うので、それを入れるのは難しい。これ毎週、例えば 2 週間にいっぺんとかでやっているのであれば、そういうのもできるのだろうなと。今回は木村さんが行きたいところ、次は福田さんが行きたいところとなるとできるのかなと思いながら、いろいろ見ていました。最初見たときに、これはあまり予備知識を持って見ていなかったもので、1 回の特番なのか。本当に印象としては、最後に「もう一回、こういう番組があるのですか」、「あると思います」と言っていたので、次があって、見たいなという感じがして、本当にこの 2 人はすごくいいコンビだなと思って見ていて、結構のめり込んで見たところでした。

ちょっとまとまっていらないですけれども、以上です。

そのだ副委員長)      ありがとうございます。  
では、小川さん、お願いします。

小川委員)              お願いします。天津木村さんの地元紹介の旅番組というのに地元出身の福田こうへいさんを迎えてという、そういった組合せで、紅白の演歌歌手と漫才師の組合せの道中、先ほど内海さんもおっしゃっていたように、なぜ最初の入りが玉山での釣りなのかは疑問に思いつつですけれども、楽しく視聴



させていただける番組でした。

福田こうへいさんは、地元でも誰でもが知る歌手ですので、また地元の方言や独特のイントネーションを使いこなすこともできますので、お話も上手ですし、天津木村さんとの自然に生まれる漫才的要素を含んだ掛け合いにも期待できる素晴らしい人選だったと思います。事実そうでした。

旅のメニューですけども、あの地域ですので、道の駅錦秋湖でのわらび餅、それで展望台での民謡「南部牛追唄」披露とか、銀河ホールでのコーラス参加、それから瀬川さん夫婦が経営するネビラキカフェへの訪問と、工芸ユニットではクラフトでアクセサリまでも作ったと、砂ゆっこへも行って砂風呂にも入るといふ、あの地域のポイントを一通り押さえたような紹介番組かなと。そして、最後はやはり歌手をお連れしているということで、湯本温泉街のスナックでお決まりの本気モードのカラオケということで、大変盛りだくさんだったという印象でございます。

番組を見ていて、そのシーン移り変わりとかコマーシャルの入りと出で字幕解説とか効果だったり、またナレーションの番組進行にメリハリをつけていたのではないかと思いますし、城戸アナウンサーの声が男旅に明るさを与えるもので、1時間番組でしたけれども、のんびりした気分で楽しく見ることができました。

また、映像も通常のカメラだけではなくて、ドローンカメラも使って西和賀の錦秋湖の絶景ですとか、そういった自然の豊かさも感じる工夫がされていたというふうに思います。

西和賀の道の駅錦秋湖は、地滑り被害で道路が通れなくなる前に以前紅葉を見に行ったこともあるのですけれども、そこでは山菜そばを食べて、それ以来行っていないので、今回久しぶりに見ましたし、初めての共演とは思えない2人が紹介する番組でしたので、またあの地域を訪れてみたいという、そういった印象を持つことができました。

私のほうからは以上です。

そのだ副委員長)     ありがとうございます。  
松澤さん、お願いします。

松澤委員)            同い年の2人が岩手県内を舞台に何だりかんだりという気ままに巡りながら、地域の人々と交流をや食文化を紹介するバラエティーの旅番組だろうと想像して拝見しました。それは前に天津さんが修学旅行のやつもやっていたので、その延長線上かなという、同級生についてはそういうふうに受け

止めたのですけれども、違う意味で大変楽しく最後まで拝見しました。

オープニングトークから始まって、ロケパートから車中トークからエンディングに向けた構成も飽きずに見られたところと、「はっ」と途中で気づいたのは、天津木村さんが途中、福田こうへいさんに、「自分の移住についてどう思っていましたか」というふうに問いかける場面があって、それが雑談の中で、私自身はちょっと「はっ」として、地元出身者と移住者という立場の違いを何となく映し出す象徴的な場面であったように感じました。

地元の方が外から来る人をどういうふうに分け入れているかという問いを何となくその会話の中でユーモラスに潜ませて、岩手県民の地元だからこそ客観的な感じを出している、もしくは近過ぎてむしろ応援しにくいみたいな気質みたいなものも背景に見えて、何かその微妙な距離感を 2 人の会話というか、福田こうへいさんのお返事が「いいと思っていますよ」というような返事が体現していたように思いました。

なぜそこに引っかかったというか、「はっ」としたかというところ、この場面に戸惑いみたいなものを覚えたのは、私自身が移住者でありながら、いつの間にかこっち側、地元の立場で物事を見ていたけれども、やっぱり移住者なのだよなみたいな戸惑いだったのかなというふうには思っています。

この一瞬の感情というのが単なる旅番組を超えて、地域における内と外みたいな関係性とか、移住、定住というテーマの本質というか、テレビの企画の下にというか、ベースにある何か本質を静かに問いかけているような感じがしました。

なので、ある意味新しいなというか、あまり表面的にテーマに実はしてこなかった地域の魅力を伝えると同時に、やっぱり地元出身者と移住者という 2 つの視点を通じて地域の新しい関係性を示していく番組の役割を果たされたかなというふうに思いました。

以上です。

そのだ副委員長)      ありがとうございます。  
高橋さん、お願いします。

高橋委員)              今回、ダムみたいなシーンが出ていました。これは雫石かな。そのださんのところに行って、そのださんも出るのかなと思ったら、そのださん出なかった。多分次は出るのだと思います。

すごく楽しかったです。やっぱり華があるお二人なので、何をしても絵になってよかったし、いつも行く観光地とはち

よっと違って、西和賀にフォーカスして、私の知らなかった鉄の彼とか、いろんな情報が知れてとてもよかったと思います。だから、1回目はこれでいいと思います。

私の提案があるのですが、その前に、いろいろな歌のシーンで出てくる福田こうへいさんはすごくキラキラにちゃんと加工されていて美しかったのですけれども、カメラでリアルなこうへいさんを映したときに、ちょっと目の下の、何かすごく気になって、私は年だから分かるのです。すごいリアルなカメラで撮ると、いろいろあらが目立ったりするではないですか。ここをもうちょっと光を当てたりですとか、そこをちょっとやってほしかった。夢を壊してほしくなかったと思うので、次はちょっとライトの人も連れてロケをしていただければ、とてもとてもよかったと思います。

こうへいさんはさすがになまりがトラディショナルな、何かすごくすてきななまりで、いわゆる都会人がしゃべるうそなまりではないのですよね。すごく好感持てると思ったし、だからそこからもう何をしてもすばらしく見えました。

一番私的に萌えとしたのは、歌のシーンで、やっぱりお二人とも吟じる方と紅白出た歌手ですから、カラオケのシーンが圧巻で、カラオケのシーンのところだけ3回巻き戻して見ました。なので、何かいろいろ網羅するのもありだと思うのですけれども、2回目はちょっとテーマを絞って、私が見たいのは、ちょっと他局ですけれども、「鬼レンチャン」ってあるのですよね。あれをやってほしいなと思って、何を歌っても絶対うまいと思うのです。何点クリアしたら何とかいうのを設けて、それはパクリになってしまうのかな。でも、オマージュでいいと思うのです。ちょっと2人が歌うのを見たいなと思いましたので、1回目としては様々な展開が期待されるすばらしい番組であったと思います。面白かったです。ありがとうございます。

そのだ副委員長)     ありがとうございます。  
それでは、佐竹さん、お願いします。

佐竹委員)            気まぐれ道中ということで、本当に自由度が高い番組で、福田こうへいさんと天津木村さんですか、本当に皆さんおっしゃるとおり、初共演とは思われないような2人の掛け合いもすばらしく、本当にあっという間の50分で楽しく視聴させていただきました。

意図的に演出された面白さではなくて、やっぱり2人が意気投合して、2人が楽しんでいたので、その表情は画面越しに伝わり、視聴者も自然と共感し、番組を楽しむことができた

のではないかなというふうに感じました。特に福田こうへいさんのアドリブですね、ネイティブの言葉、何でしたか、「ねらねらずい（岩手の方言で、まとわりつくようだの意）」でしたか、そういった言葉で、本職の歌ですね、なかなかプロがこういうバラエティーで熱唱する機会はないのかなというふうに思いながら、様々なシチュエーションで福田こうへいさんが、いろんなサービス精神が本当にすばらしいなというふうに思いました。自分自身も楽しみつつ、番組をいかに楽しく面白くを心がけている方だなど、本当に感心したところです。

あと少し気になった部分は、やっぱり映像の部分です。撮影時期が春先だったとか、少し曇りだったのかなと思いますが、せっかくの錦秋湖だったりネビラキカフェですか、何か色合いが全体的に暗いイメージでした。くすんだ色で、その辺りが少し残念でした。季節とか天候は調整が難しいのはそのとおりだと思いますけれども、やはり実際に今回の旅の映像だけではなくて、新緑とか紅葉とか、それぞれの時期の映像を併用してもよかったのかなと思います。西和賀は四季折々の季節があるので、せっかく絶景カフェという部分ですので、やはりその辺りは何らかの工夫があったほうが、より西和賀の美しさとか、すばらしさとか、そういったものを表現できたのかなと思います。

その中でもテロップとか字幕スーパーは色使いがすごくきれいで、逆にさっき言った映像が少し暗かった分、そのコントラストが番組全体に明るい雰囲気を出していたのかなというので、その辺りは工夫していたなというふうに感じました。

あとは、よかったのはもちろん主演の2人もよかったのですが、ネビラキカフェの瀬川さん夫婦、あと山の上のアイアンの田中さんですね。やっぱり地元出身、Uターンしたのかもしれませんが、地元出身の若者ということで、西和賀を大好きで誇りを持って、自分のやりたいことを職業として頑張っている姿は本当に印象的でした。西和賀を盛り上げようとしているのは、番組を見て伝わりました。このように地域の魅力を紹介する際、頑張る若者にフォーカスするということは、地域の可能性であるとか、そういう未来への期待を伝える上で効果的だと思いますので、やっぱりこの辺はぜひともいろんな形でこういう紹介していったほしいなというふうに感じました。

あとは、最後に疑問ですけれども、内海さんも小川さんもおっしゃったとおり、オープニングの玉山のイワナ釣りの部分、その辺りが伏線で最後に回収があるかなと思いつつ、そのまま終わったので、その辺の意図というのを少し確認した

いと思います。  
以上です。

そのだ副委員長)     ありがとうございます。  
では、石川さん、お願いします。

石川委員)           今回の合評の課題番組、これまでの天津木村さんの芸人さんのネットワークを生かしたゲストではなくて、岩手が生んだ紅白出場歌手である福田こうへいさんを迎えてのバラエティー番組でしたけれども、皆さんおっしゃっていましたが、同い年だということなのだと思いますが、2人の掛け合いがとてもよく息が合っていて、初めて一緒に仕事をするという感じがしませんでした。仲のいい同級生の小旅行といった感じで、特に福田こうへいさんが全く飾らないプライベートで遊びに来たような感じがよかったですと思いました。

これも皆さんおっしゃっていたのですが、早朝の玉山でのイワナ釣りから始まった番組のオープニングについては、その後の展開を見るとよく分かりませんでした、その時点ではこれから始まる休日 1 日を気ままにやりたいことをやって過ごそうという意図を伝えようとする意図だったのかなというふうに言いました。

その後西和賀町に舞台を移してからの展開は、ある程度台本はあったのだろーと思います、気まぐれをテーマにしていたということもあり、鉄の工房、山のうえアイアンに電話でアポを取るくだりや、高忠商店の香茸、別名馬喰茸を見つけて、福田こうへいさんが食いつくところ、そして最後のカラオケスナックまでの流れは、本当に行き当たりばったりで進行しているように見せることができていたと思います。

何といっても今回の番組では、福田こうへいさんが本当にいい仕事をしていたと思いました。訪れる先々で思い切りなまって終始自由に振る舞う福田こうへいさんの存在が気まぐれ感を演出する上で、とても効果的だったと思います。本当にすごい演歌歌手なのに、スター然としたところが全くないのか、コメント力も高くセンスがあると思いました。

錦秋湖展望台での「南部牛追唄」無料サンプルQRコード決済可や銀河ホールでの坐骨神経痛の痛みが消えたなど、思わず噴き出してしまうようなコメントが満載でした。加えてテレビだということを全く意識せずに、地元の私でも久しぶりに聞くような方言や本物の岩手なまりで終始コメントしていたことが、改めて地元岩手の魅力を伝える上で効果的だったと思います。

佐竹さんもおっしゃっていましたが、秀逸だったのはネビ

ラキカフェでケーキの食感を表現した「ねらねらずい」で、改めて東北弁の擬音が伝わるなあと、すごいなと思いました。

城戸アナのそれぞれの場面、展開に合わせたテンションでのナレーションが今回もよかったですし、効果的に挿入されるテロップのコメント内容やイラストなどもレベルの高い演出でした。

芸人さんと演歌歌手という異なる世界で活躍するお二人ですが、初めて一緒に仕事をするといった感じは全くなく、とても相性のよいお二人の続編番組をぜひ見てみたいと思いました。

以上です。

そのだ副委員長)     ありがとうございました。

では、私からですが、あえて西和賀町にしたのはなぜかと思ったのですが、コースがやっぱりパーフェクトで、これ以上行くところないというぐらいのすごくいい流れだったと思います。鉄の工房さんとか、カラオケスナックさんとかは、本当にサプライズだったのかなと思うのですが、その店主の方とかママさんとかが、すごい困り感というか、応対が上手でよかったなと思います。

お二人同い年ということなのですが、初めてお仕事を一緒にするということで、ちゃんと距離感を持ってお互いに敬語を使っているところは、すごく気持ちが良かったです。これ急に何かため口とかになったら、あんまりなと思っていたのですが、やっぱりすごい 2 人ともプロだなというのを感じました。

惣兵衛さんもおっしゃっていましたが、こうへい君、顔色悪いのがちょっと気になり、彼は歯を入れ替えているので、歯だけ光っていたのがちょっと気になっておりました。

西和賀町、私も結構行って、ほとんど知り合いが映っていたのがおかしかったのですが、ネビラキさんとかは、ふるさとCM大賞とかにも出ていた人が、ここまでカフェを開くまで頑張ったのだなというのを、すごく昔から知っている私としては、うんうん、よかったねみたいな感じで見させていただき、こうへい君も高校を卒業したあたりからの付き合いなのですが、あの辺りは全然なまっていなかったもので、どこで覚えたのだろうって思うのですが、だけれども、彼はもう昔からボケがうまいですね。木村さんは吉本芸人さんということで、本当に突っ込みが上手過ぎるので、このコンビの番組は見ていて面白いのかなという、ちょっと希望が湧きました。これは某裏番組ではないですが、でも、「わが町バンザイ」的な番組欲しいなという、ちょっと欲

が出ました。一般人を絡めるという、何かそういう旅番組とか、身近な情報番組ってあると面白いのかなと思います。いちいちテロップとかも、そのまんま上げてくれたり、なまりのところをあえてエコーにするとか、すごく編集も工夫されていて、一番私も印象的だったのがドローンで錦秋湖をばあっと後ろまで映すというやり方とかはよかったですね。この2人は、あえて田舎を回ってほしいなと思うと、何か次は雫石なのかなと思います。そのとき電話来たら、ちょっと嫌だなと。彼には「事務所、ざすざすずい（岩手の方言で、じやりじやりしているの意）」って言われているので、ちょっとそれも怖いなと思いながらもお待ちしております。

やっぱり釣りの場面は分かるのですけれども、ちょっと引き延ばして、次は天津さんの初めて旅があってもいいのかなと。あちこち溪流釣りの旅も面白いのかなと思うと、何か元番審委員長が出てきそうだし、面白い要素はあるのではないかなと思います、お二人を使うことによって。なので、ちょっところれは定着してほしいのと、何か「Go! Go! いわて」に挟んで5分ぐらいのミニ旅番組みたいなのがあっても面白いのかなという、ちょっと希望が湧いた番組だったと思います。

すごく流れがよかったです。これ以上がないけれども、できれば西和賀で田舎のわがやというそば屋とスーパーオセンにも行ってほしかったなというのはちょっと地元民としては、ぜいたくな番組だったと思って面白かったです。ありがとうございました。

では、皆さん、ほかに言い忘れたこととか質問とか大丈夫でしょうか。

では、どうぞ。四戸さん。

四戸プロデューサー) ご講評いただきまして、ありがとうございました。全体的によい出来だったと言っていたのがすごくありがたいです。

ちょっといろいろご質問に答える前に成り立ちというか、この番組をどうしてつくることになったかという話でいうと、ご存じか、出前カラオケという番組が以前ありまして、その司会をずっとこうへいさんが、元は先代のお父様の福田岩月様であつたのですけれども、ずっとやっていたいていて、そういう経緯があつて弊社とご縁がちょっとあつたのですけれども、なかなか最近お仕事も一緒にできていない中で、ちょっとPRとかもあるからというので、ぜひ一緒に何かできないかなというのを去年の秋ぐらいちょっとお話をさせていただく機会が僕のほうでありまして、ではせっかくなので、

「Go！Go！いわて」とかでコーナーとか特集とかどうですかなんていう話をしていたら、何かあれよあれよという間にゴールデン番組にしようという話に、せっかくだったらということになりまして実現した番組という形で、すごくいいご縁をいただいて実現した番組だったなというふうに個人的に思っています。

当初秋ぐらいからお話をしていたので、2人でもうやりたいことを何でもやってしまう番組にしましょうよと、同い年だということもあるし、どんなことをやりたいのですか、何をやりたいのですかというのをずっとお話ししながら進めてきたのです。こうへいさんからは2つしか出てこなくて、ゴルフしたいというのと釣りしたいという2個ずっと出てきて、こうへいさんはどうしても木村さんに釣りを教えたいと。俺が釣りにいつも行く秘密のポイントがあって、誰でも釣れるイワナのポイントがあるから、そこでどうしても、そのとおりなのですけれども、番組でやっているとおりのなのですけれども、本当にご実家からちょっと行った近くなのですけれども、それだけやらせてくれと、それをやらせてくれるのだったらいいよみたいな感じになっていったというところもあって、あの釣りのシーン、それで冒頭それで始まって。木村さんは本当に、せっかくだったらいろんな人と触れ合ってみたいですとか、本当に歌を歌いたい、カラオケ歌いたい、木村さんだったらそれをやってみたいとかという要望を集めて、本当にだから演者の方々、木村さんとかうへいさんのやりたいことをかなえと言ったらおこがましいのですけれども、やっていただける番組にしたいという思いでいろいろ演出していった番組だったので、ちょっとちぐはぐな感じに見える部分もあったのかなと思うのですけれども、そういう意味では僕らもそれを最後、うまくある程度形にできた番組だったかなというふうに思います。

なので、冒頭の釣りのシーンは福田こうへいさんたちの希望でございまして、我々もちょっと釣りなしでどうでしょうかと最後までちょっとぐずったのですけれども、それはやるという形で、雨降ったらなしというスケジュールだったのですけれども、雨降らないかなと若干思っていたりしたのですけれども、それはそれで現場ではすごく面白くて、本当にポイと入れたらすぐ釣れてしまったりとか、もうちょっと長く使いたかったのですけれども、本当に取れ高が皆さんおっしゃっていただくようにすごくあって、どこを切ろうか迷うぐらいの面白いロケだったので、次回もぜひという話もさせてはいただいているのですけれども、ちょっと今いただいたご意見を参考に、また考えていければなというふうに思って



おります。ありがとうございます。

そのだ副委員長) ありがとうございます。何か各地のスナックも回ってほしいですね。

四戸プロデューサー) 僕が行きたくて、スナックにこうへいさんを連れていったらどうなるのだろうというのをちょっと見たくて。

そのだ副委員長) あまり飲ませなければ大丈夫だと。

四戸プロデューサー) マイグラスをお持ちなので。

そのだ副委員長) ですっけね。酔っ払うと電話かかってくるのです。最近無視しています。夜中に来るので。ありがとうございました。  
では、最後に事務局から次回のご案内等をお願いいたします。

岩淵事務局長) それでは、次回についてご案内いたします。  
次回は11月の26日水曜日、午前11時から当会議室にて開催いたします。合併課題は、「天津木村のG o ! G o ! G o l f」を予定しております。どうぞよろしくお願いいたします。  
本日はありがとうございました。

そのだ副委員長) ありがとうございました。  
以上をもちまして第292回番組審議委員会を終了させていただきます。皆さん、ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置

ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。

議事録を総務大臣、東北総合通信局長、日本民間放送連盟、BPO 及びテレビ朝日をはじめとする系列各局に配信する。

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

- ・ 11 月 15 日（土）午前 7 時 30 分～10 時 55 分 情報番組「Go！Go！いわて」
- ・ 本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。
- ・ インターネットホームページに概略を掲載。

9. その他の参考事項

特になし

10. 配布資料

- ・ 11 月単発番組編成予定表
- ・ 9 月度岩手地区視聴率
- ・ 9 月視聴者対応記録
- ・ 番組種別ごとの放送時間